

Office2016 インストールマニュアル

平成28年10月21日
神戸大学 情報基盤センター

このマニュアルは九州大学情報統括本部より提供いただいたマニュアルをもとに作成いたしました。



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

目次

STEP1 インストールの前に

インストールの前に . . . 1 ページ

STEP2 インストール

新規インストール . . . 2 ページ

アップグレード . . . 5 ページ

STEP3 ライセンス認証

1. DNSサフィックスの追加 . . . 8 ページ

2. ライセンス認証の確認 . . . 12 ページ

※ Office 2016 の対応OSは Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 Service Pack 1です。

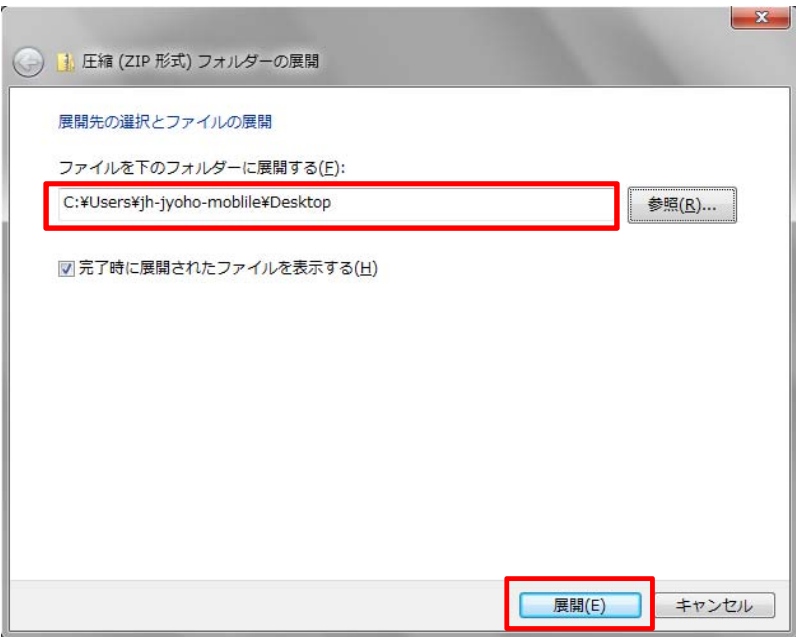
Windows Vista には対応していませんのでご注意ください。

※ Office 2016 には 32bit版と 64bit版があります。インストールするコンピュータでどちらの Windows を実行しているか確認してください。

(参考) Microsoft Office の 32 ビット版と 64 ビット版を選択する

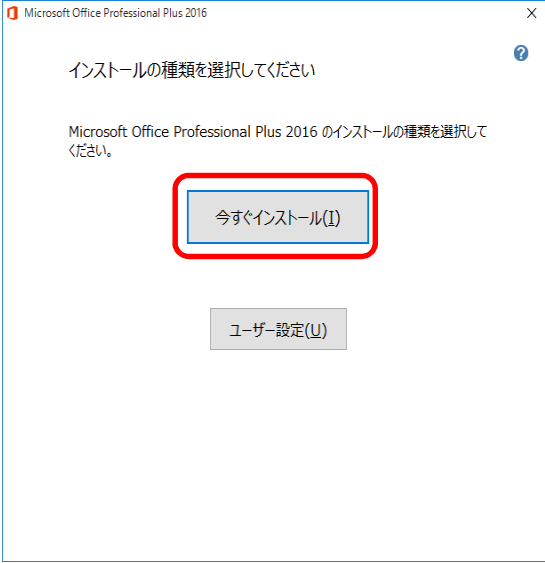
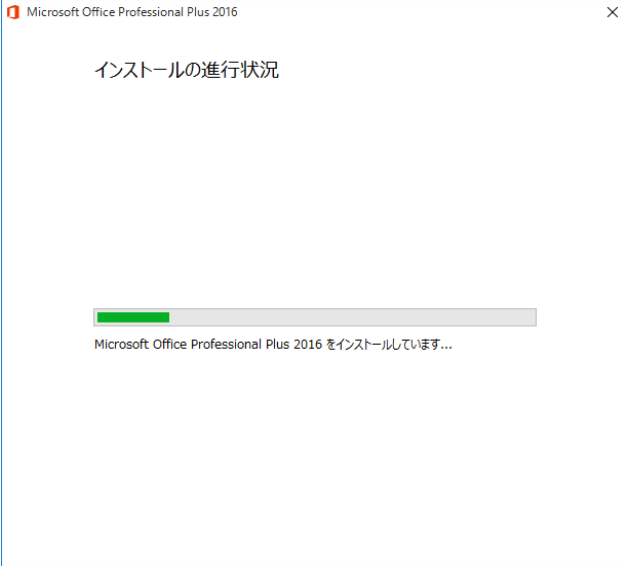
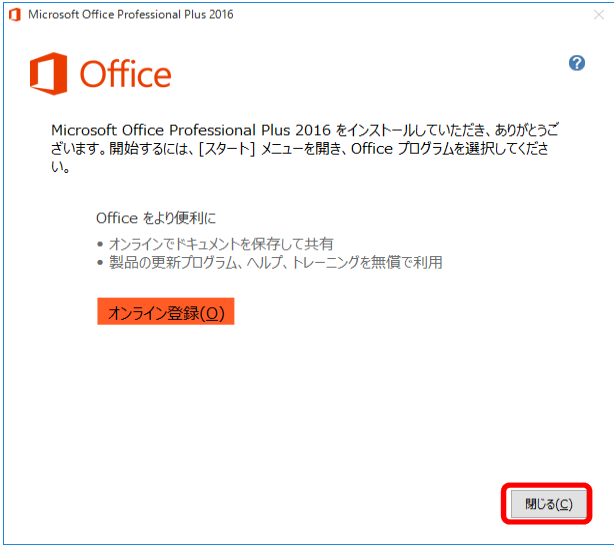
<http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010369476.aspx>



STEP1 インストールの前に

操作画面	操作手順
 <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2016_W32_Japanese_M...</p> <p>開く(O) Browse with Paint Shop Pro 8 新しいウィンドウで開く(E) すべて展開(T)... 解凍(E) 圧縮(C)</p>	<p>手順1 ダウンロードしたZIP形式の圧縮ファイルを右クリックして、「すべて展開」を選択します。</p>
 <p>圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開</p> <p>展開先の選択とファイルの展開</p> <p>ファイルを下のフォルダに展開する(E): C:\Users\jyh-jyoho-mobile\Desktop 参照(R)...</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 完了時に展開されたファイルを表示する(H)</p> <p>展開(E) キャンセル</p>	<p>手順2 保存先を選択し、「展開」をクリックし、解凍します。</p>



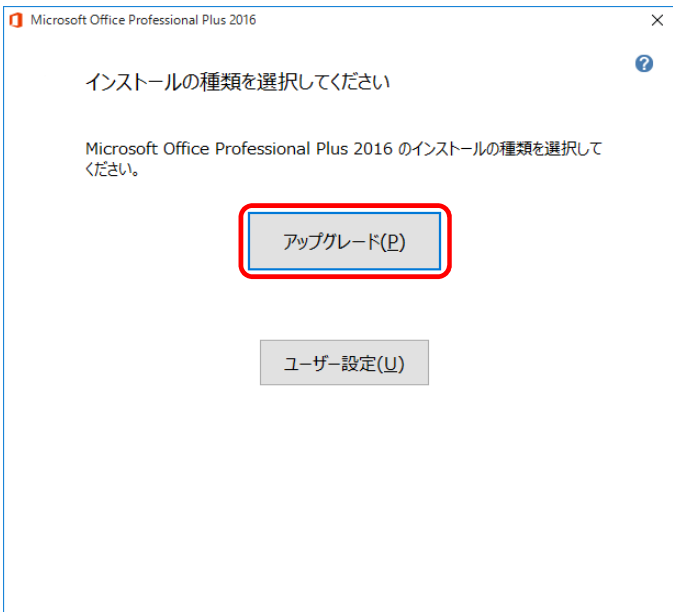
STEP2-1 新規インストール

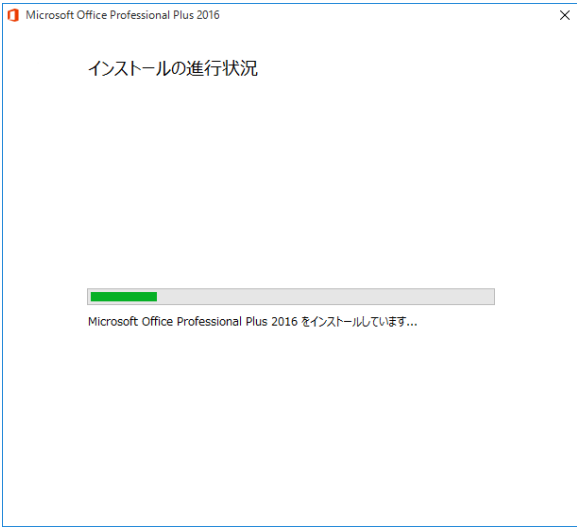
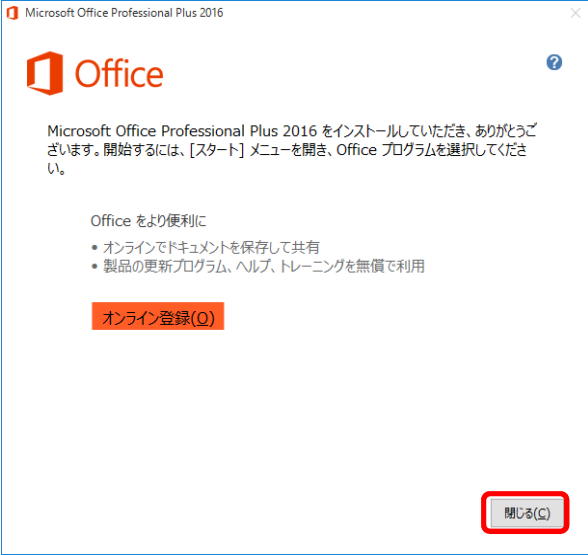
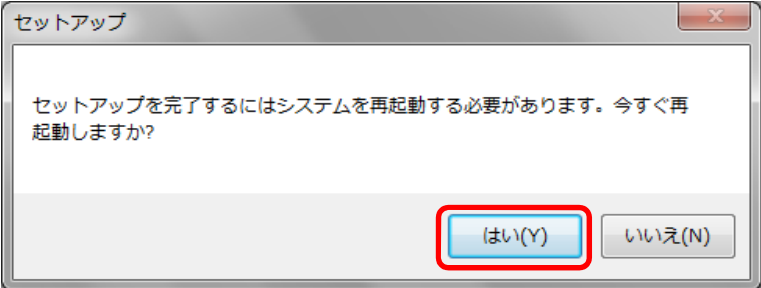
操作画面	操作手順
 <p>setup</p>	<p>手順1 解凍し作成されたフォルダの中にある「setup.exe」アイコンをクリックします。</p> <p>※対象のPCに既にOfficeがインストールされている場合は、STEP2-2「アップグレード」へ進んでください。</p>
 <p>ユーザー アカウント制御</p> <p>このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?</p> <p>プログラム名: Microsoft Setup Bootstrapper 確認済みの発行元: Microsoft Corporation ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ</p> <p>詳細を表示する(D) <input checked="" type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/></p> <p>これらの通知を表示するタイミングを変更する</p>	<p>手順2 「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。</p>
 <p>Microsoft Office Professional Plus 2016</p> <p>マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください</p> <p>インストールを続けるには、本ライセンス条項に同意する必要があります。マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意されない場合は、このウィンドウを開いてインストールを中止してください。</p> <p>注意：本ソフトウェアを使用するには、本ソフトウェアに付属のライセンス契約書の条項および条件に従う必要があります。たとえば、</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリウム ライセンスのお客様の場合、本ソフトウェアを使用するには、ポリウム ライセンス契約書に従う必要があります。 • MSDN のお客様の場合、本ソフトウェアを使用するには、MSDN 契約書に従う必要があります。 <p>マイクロソフトまたはその認定代理店から本ソフトウェアのライセンスを正規に取得していない場合は、本ソフトウェアを使用できません。</p> <p>EULAID:O16_RTM_VL.1_RTM_JP</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します(A) <input type="button" value="続行(C)"/></p>	<p>手順3 「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。</p> <p>次の画面が表示されるまで、しばらくかかります。</p>



操作画面	操作手順
	<p>手順4 「今すぐインストール」をクリックします。</p>
	<p>手順5 インストールが開始されます。 インストールが完了するまでしばらくかかります。</p>
	<p>手順6 「閉じる」をクリックします。 これで新規インストールは完了です。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順7 インストールしたOfficeを最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2016_64Bit_Japanese_MLF_X20-...</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2016_64Bit_Japanese_MLF_X20-...</p> </div> </div>	<p>手順8 インストールの完了後は、ダウンロードしたZIP形式のファイルと解凍し作成されたフォルダを削除します。</p>

STEP2-2 アップグレード

操作画面	操作手順
 <p>The image shows the Microsoft Office setup icon, which consists of the red Office logo and a blue and yellow shield, with the word 'setup' written below it.</p>	<p>手順1 解凍し作成されたフォルダの中にある「setup.exe」アイコンをクリックします。</p> <p>※対象のPCにOfficeが入っていない場合は、STEP2-1「新規インストール」をご覧ください。</p>
 <p>The image shows a Windows User Account Control dialog box. The title bar reads 'ユーザー アカウント制御'. The main text asks 'このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?' (Do you want to allow this app to make changes to your PC?). Below this, it lists: 'プログラム名: Microsoft Setup Bootstrapper', '確認済みの発行元: Microsoft Corporation', and 'ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ'. At the bottom, there are two buttons: 'はい(Y)' (Yes) and 'いいえ(N)' (No). The 'はい(Y)' button is highlighted with a red box.</p>	<p>手順2 「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。</p>
 <p>The image shows the 'Microsoft Office Professional Plus 2016' installation dialog box. The title bar reads 'Microsoft Office Professional Plus 2016'. The main text says 'インストールの種類を選択してください' (Please select the type of installation). Below this, it says 'Microsoft Office Professional Plus 2016 のインストールの種類を選択してください。' (Please select the type of Microsoft Office Professional Plus 2016 installation). There are two buttons: 'アップグレード(P)' (Upgrade) and 'ユーザー設定(U)' (User Settings). The 'アップグレード(P)' button is highlighted with a red box.</p>	<p>手順3 「アップグレード」か「ユーザー設定」のどちらかをクリックします。</p> <p>※アップグレード 既存のOfficeを削除して新たにOffice2016をインストールします。</p> <p>※ユーザー設定 以下の3項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 以前のバージョンをすべて削除する • 以前のバージョンを全て残す • 削除するアプリケーションを指定する </p>

操作画面	操作手順
	<p>手順4 インストールが開始されます。</p> <p>インストールが完了するまでしばらくかかります。</p>
	<p>手順5 「閉じる」をクリックします。</p> <p>これでアップグレードは完了です。</p>
	<p>手順6 既存のOfficeを削除して新たにOffice2016をインストールした場合は、Windowsの再起動が必要です。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順7 インストールしたOfficeを最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2016_64Bit_Japanese_MLF_X20-...</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2016_64Bit_Japanese_MLF_X20-...</p> </div> </div>	<p>手順8 インストールの完了後は、ダウンロードしたZIP形式のファイルと解凍し作成されたフォルダを削除します。</p>

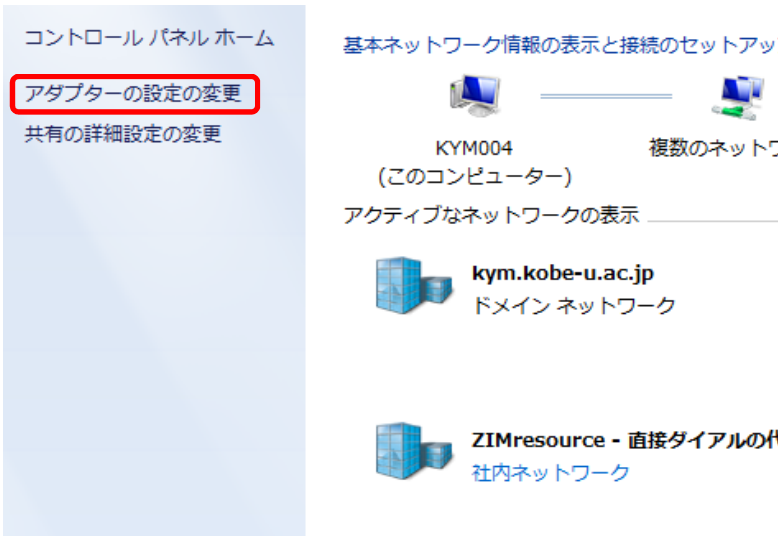
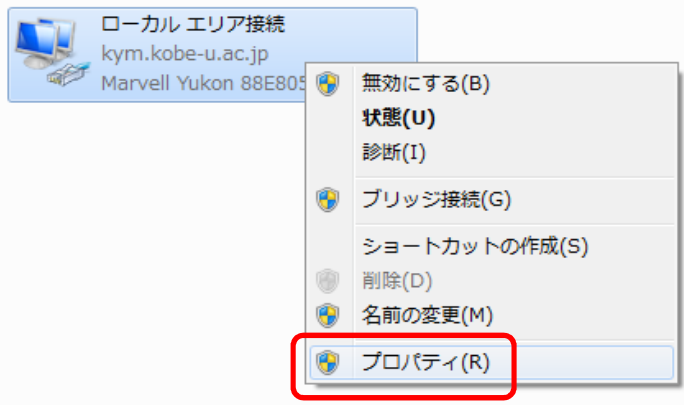
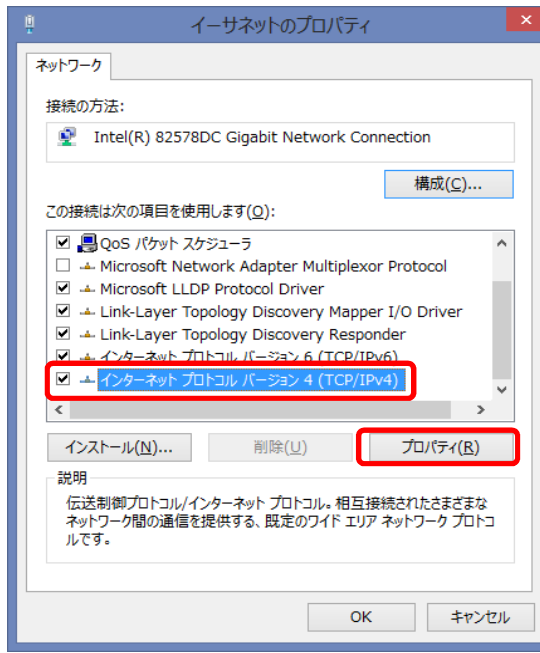
STEP3-1 DNSサフィックスの追加

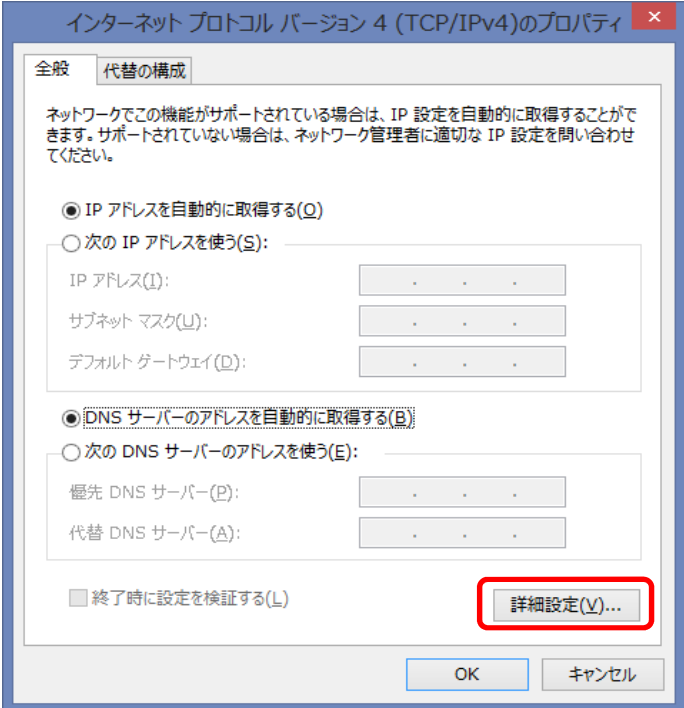
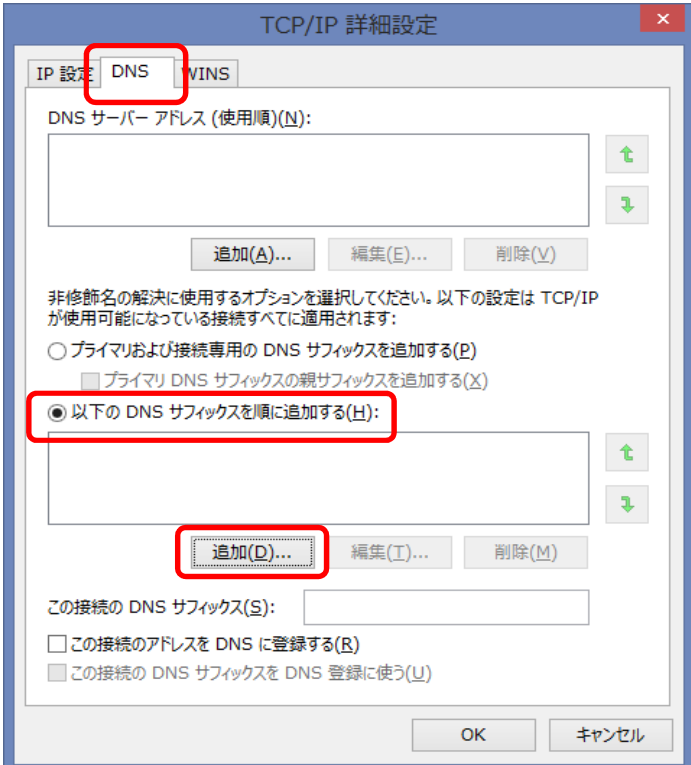
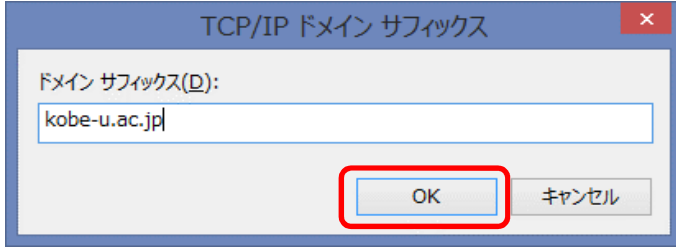
Officeの利用には、定期的なライセンス認証が必要です。
コンピュータを学内ネットワークに接続していれば、ライセンス認証は7日毎に自動的に実行されます。

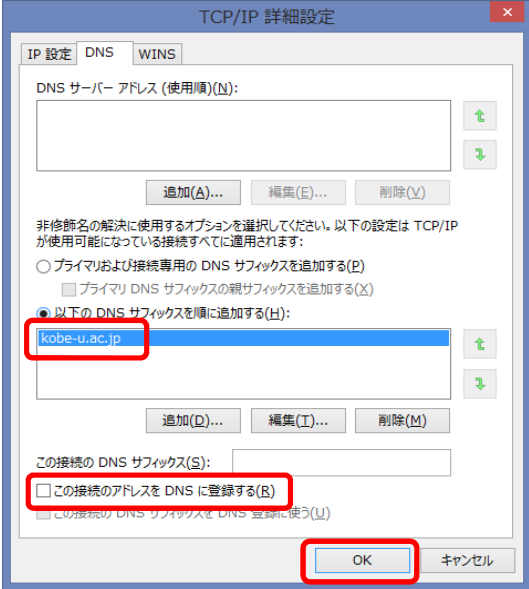
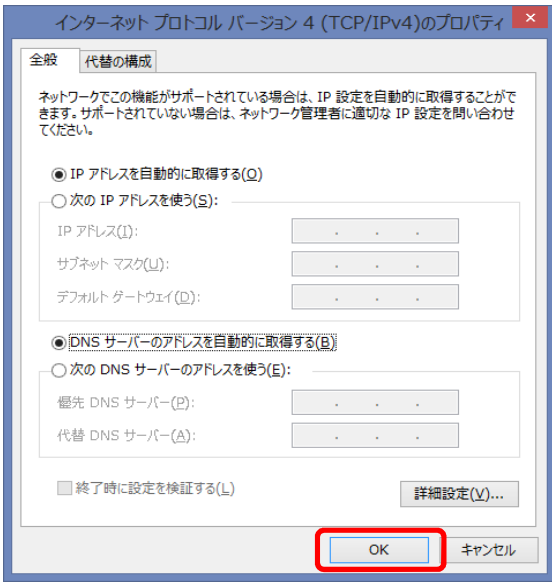
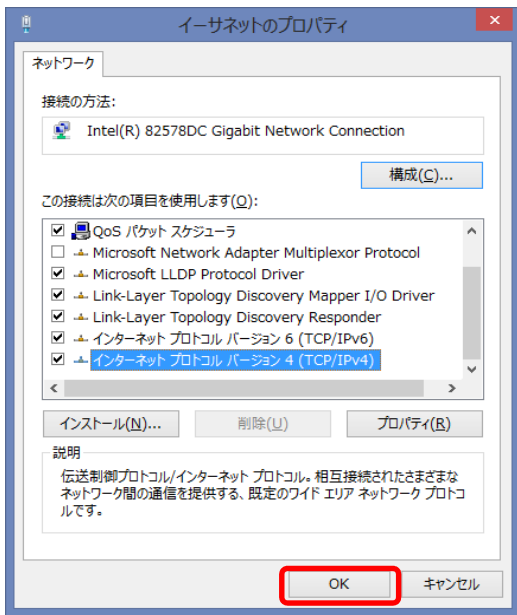
学内ネットワークに接続していない等の理由で、最後にライセンス認証を実行した日から180日経過した場合、ライセンス認証の実行を促すメッセージが表示され、30日後にはOfficeが利用できなくなりますのでご注意ください。

ライセンス認証を自動的に実行するための設定を行います。
既に、DNSサフィックスを追加している場合は、この処理は不要です。

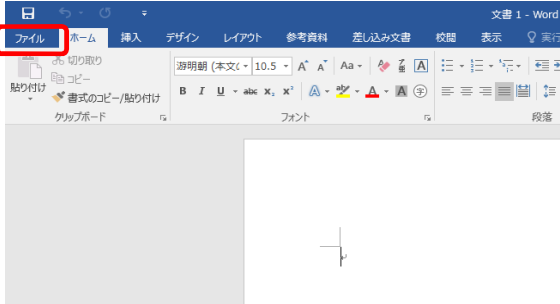


操作画面	操作手順
	<p>手順1 コンピュータに管理者権限ユーザーでログインして、コントロールパネルを開きます。</p> <p>左図はWindows7での画面です。</p> <p>Windows10の場合は、「設定」を開きます。</p>
	<p>手順2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。 (または、「ネットワークと共有センター」をクリックします。)</p> <p>Windows10の場合は、「ネットワークとインターネット」をクリックし、「イーサネット」をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
 <p>コントロールパネル ホーム</p> <p>アダプターの設定の変更</p> <p>共有の詳細設定の変更</p> <p>基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ</p> <p>KYM004 (このコンピューター)</p> <p>複数のネットワーク</p> <p>アクティブなネットワークの表示</p> <p>kym.kobe-u.ac.jp ドメイン ネットワーク</p> <p>ZIMresource - 直接ダイヤルアウト 社内ネットワーク</p>	<p>手順3 「アダプターの設定の変更」をクリックします。</p> <p>Windows10の場合は、「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。</p>
 <p>ローカル エリア接続 kym.kobe-u.ac.jp Marvell Yukon 88E8057</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効にする(B) 状態(U) 診断(I) ブリッジ接続(G) ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) プロパティ(R) 	<p>手順4 学内のネットワーク接続に用いるアダプター設定（「ローカルエリア接続」等）を右クリックし、「プロパティ」を選択します。</p> <p>その際、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合がありますが、「続行」ボタンをクリックします。</p> <p>無線ネットワークと有線ネットワークの両方を利用する場合は、何れか一方のアダプタに設定することで、設定は両方に反映されます。</p>
 <p>イーサネットのプロパティ</p> <p>ネットワーク</p> <p>接続の方法: Intel(R) 82578DC Gigabit Network Connection</p> <p>構成(C)...</p> <p>この接続は次の項目を使用します(Q):</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> QoS パケット スケジューラ <input type="checkbox"/> Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol <input checked="" type="checkbox"/> Microsoft LLDP Protocol Driver <input checked="" type="checkbox"/> Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver <input checked="" type="checkbox"/> Link-Layer Topology Discovery Responder <input checked="" type="checkbox"/> インターネット プロトコル、バージョン 6 (TCP/IPv6) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット プロトコル、バージョン 4 (TCP/IPv4) <p>インストール(N)... 削除(L) プロパティ(R)</p> <p>説明 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順5 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
 <p>インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ</p> <p>全般 代替の構成</p> <p>ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。</p> <p><input checked="" type="radio"/> IP アドレスを自動的に取得する(O)</p> <p><input type="radio"/> 次の IP アドレスを使う(S):</p> <p>IP アドレス(I): <input type="text"/></p> <p>サブネット マスク(U): <input type="text"/></p> <p>デフォルト ゲートウェイ(D): <input type="text"/></p> <p><input checked="" type="radio"/> DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)</p> <p><input type="radio"/> 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):</p> <p>優先 DNS サーバー(P): <input type="text"/></p> <p>代替 DNS サーバー(A): <input type="text"/></p> <p><input type="checkbox"/> 終了時に設定を検証する(L)</p> <p>詳細設定(V)...</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順6 「詳細設定」をクリックします。</p> <p>(補足) IPアドレスなど現在の設定を変更する必要はありません。</p>
 <p>TCP/IP 詳細設定</p> <p>IP 設定 DNS WINS</p> <p>DNS サーバー アドレス (使用順)(N):</p> <p><input type="text"/></p> <p>↑ ↓</p> <p>追加(A)... 編集(E)... 削除(V)</p> <p>非修飾名の解決に使用するオプションを選択してください。以下の設定は TCP/IP が使用可能になっている接続すべてに適用されます:</p> <p><input type="radio"/> プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する(P)</p> <p><input type="checkbox"/> プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する(X)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 以下の DNS サフィックスを順に追加する(H):</p> <p><input type="text"/></p> <p>↑ ↓</p> <p>追加(D)... 編集(I)... 削除(M)</p> <p>この接続の DNS サフィックス(S): <input type="text"/></p> <p><input type="checkbox"/> この接続のアドレスを DNS に登録する(R)</p> <p><input type="checkbox"/> この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う(U)</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順7 「DNS」タブをクリックします。</p> <p>「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、その下にある「追加」をクリックします。</p>
 <p>TCP/IP ドメイン サフィックス</p> <p>ドメイン サフィックス(D):</p> <p><input type="text" value="kobe-u.ac.jp"/></p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順8 ドメインサフィックスに「kobe-u.ac.jp」を入力し、「追加」（または「OK」）をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順9 DNSサフィックスに「kobe-u.ac.jp」が追加されていることを確認します。</p> <p>また、「接続のアドレスをDNSに追加する」にチェックが入っていないことを確認します。</p> <p>「OK」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を閉じます。</p>
	<p>手順10 「OK」をクリックし、「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ」画面を閉じます。</p>
	<p>手順11 「OK」をクリックし、ネットワーク接続のプロパティ画面を閉じます。</p> <p>これで設定は終了です。</p>

STEP3-2 ライセンス認証の確認

操作画面	操作手順
	<p>手順1 DNSサフィックスの設定完了後、コンピュータ本体の再起動を行います。</p> <p>再起動後、Word等の任意のOfficeアプリケーションを起動します。</p>
	<p>手順2 Word等が起動したら、任意のテンプレートフォーマットを選択し、ファイル作成画面に入ります。</p> <p>「ファイル」をクリックします。</p>
	<p>手順3 「アカウント」をクリックします。</p>
	<p>手順4 左図のように、「ライセンス認証された製品」と表示されていれば、ライセンス認証が成功しています。</p>